

農林水産商工常任委員会資料

(平成22年6月21日)

項 目

- 1 次世代改革推進本部「ニュービジネス創出プロジェクトチーム」について
【商工政策室】…………… 1
- 2 境港・東海・ウラジオストク定期貨客船航路の運航状況等について
【経済通商総室(通商物流室)】………… 2
- 3 平成23年3月新規高等学校卒業予定者の求人要請について
【雇用人材総室(雇用就業支援室)】… 3
- 4 ふるさと雇用再生特別交付金事業及び緊急雇用創出事業の平成21年度
実施状況と平成22年度予備枠の執行状況について(6/4現在)
【雇用人材総室(雇用就業支援室)】… 4
- 5 次世代改革推進本部「緑の分権改革プロジェクトチーム」について
【産業振興総室(企業立地推進室)】… 6
- 6 鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」の状況について
【市場開拓局市場開拓課】………… 7
- 7 第3回「食のみやこ鳥取県」県産品展示商談会の開催結果について
【市場開拓局市場開拓課】………… 9

商 工 労 働 部

次世代改革推進本部「ニュービジネス創出プロジェクトチーム」について

平成 22 年 6 月 21 日
商 工 政 策 室

1 概要

農商工、農福、農医など異分野の連携により新たな産業・雇用の創出を促進するため、統轄監をチーム長とするニュービジネス PT の第 1 回会議を 5 月 19 日に開催し、今後の取組方針を確認しました。各 WG の現在の進捗状況及び今後の予定等は次のとおりです。

2 WG の状況

(1) 農商工連携 WG

◆検討テーマ（アウトプット）

- ①推進戦略上の課題・隘路への対応
- ②事業化シーズ・ニーズの抽出等による事業化実現のためのフォローの強化
- ③普及啓発・情報提供及び新たなビジネスモデルの提案

◆【責任課】、メンバー

【新事業開拓室】、食のみやこ推進課、農政課、経営支援課、生産振興課、畜産課、森林・林業総室、水産課、農林総合研究所、各総合事務所

◆進捗状況及び今後の予定

- 第 1 回 WG を 5 月 25 日に開催し、具体的な作業スケジュールと役割分担、検討事項等について意見交換。
- 定期的に WG を開催し、推進戦略の見直しや、ニーズ・シーズの情報整理や成功事例分析、ビジネスモデル案を提案。

(2) 農福連携 WG

◆検討テーマ（アウトプット）

- ①障害福祉サービス事業所における就労事業としての農作業受託システムの確立
- ②就労事業として独立した農業経営を行える障害福祉サービス事業所の育成
- ③農業経営体への障がい者の就労移行の実施・充実

◆【責任課】、メンバー

【障がい福祉課】、農政課、商工政策室

◆進捗状況及び今後の予定

- 東中西各圏域に設けた PT を中心に、農作業受託システムの確立に向けて、農作業の掘り起こし、農作業体験等、評価を実施。
- 8 月を目途に、暫定的な検証結果を基に事業実施上の課題を抽出。

(3) 農医連携 WG

◆検討テーマ（アウトプット）

- ①農医連携に取り組む企業等に対する具体的な支援フレームの提案
- ②農医連携につながるシーズの発掘及び新たなマッチングに繋げる仕組みの提案

◆【責任課】、メンバー

【産学金官連携室】、農政課、健康政策課

◆進捗状況及び今後の予定

- 鳥取大学等関係者との検討会を 6 月 15 日に開催し、今後の具体的な取組について意見交換。
- 実践者（企業）から聞き取り等も行い、具体的な提案内容を検討。

※事務局：商工政策室（対策に係る全体統括・調整、各種情報収集とチーム内外の連絡調整）

境港・東海・ウラジオストク定期貨客船航路の運航状況等について

平成22年6月21日
 経済通商総室
 通商物流室

1. 運航全般

- ・就航以来約11ヶ月を経過。台風、小規模修繕、定期点検による代替船舶への切替等により計6往復の欠航以外は定期運航を継続中。
- ・代替船（永山号）による運航は6月18日の境港出港で完了。次の境港寄航となる6月24日は、元の運航船イースタンドリーム号となる予定。
- ・旅客の動向を確認するため、6月中旬から3週間について境港への寄航を、木曜入港・金曜出港及び日曜入出港とするスケジュール（就航当時と同じ）に変更。
- ・旅客の動向は、4月以降は日本人客が若干持ち直すも、韓国人の利用は減少傾向にある。
- ・貨物は、境港からウラジオ向けのバルク貨物は増加傾向にあるものの、境港～東海の利用は低迷している。

2. 環日本海交流活性化プロジェクトチームの取組について

今年4月に「次世代改訂本部」の推進体制を変更したことに伴い、環日本海定期貨客船航路と米子～ソウル便の利用促進を図ることを目的に、庁内関係課で構成する「環日本海交流活性化プロジェクトチーム」を新たに組織し、4月28日に第一回会議を開催した。

北東アジア地方政府サミットへの参加、環日本海定期貨客船航路・就航1周年関連行事の実施などを通じ、北東アジア地域との経済・観光交流等の促進に向けた一体的な取組を展開中。

＜環日本海貨客船航路就航1周年関連：主な行事（予定を含む）＞

- ・日韓ピースウォーク【主催：NPO 法人未来】 6/3(木)～6/6(日)
- ・東海市商工会議所の来県【主催：境港商工会議所ほか】 6/17(木)～6/18(金)
- ・鳥取県・江原道輸出企業展示商談会【主催：鳥取県、江原道】 6/27(日)～6/30(水)
- ・環日本海貨客船航路就航1周年記念セレモニー【主催：鳥取県】 6/27(日)
- ・鳥取県・江原道・沿海地方青少年交流(パドミソ)【主催：鳥取県】 7/16(金)～7/17(土)

＜貿易・観光の促進に関する取組＞

- ・ハルビン国際経済貿易商談会での貨客船航路PR 6/15(火)～6/19(土)

3. 航路全体の運航実績（平成21年6月29日～平成22年5月31日 韓国東海市まとめ）

【旅客】

区分	境港～東海	東海～ウラジオストク	合計
運航回数（往復）	90回	47回	137回
乗客数（人）	26,215	5,849	32,064

＜乗客数の国籍別内訳＞

区分	韓国人	日本人	ロシア人	その他	合計
乗客数（人）	21,567	4,311	5,822	364	32,064
構成比（%）	67.3	13.4	18.2	1.1	100.0

【貨物】

＜貨物量の荷姿別内訳＞

区分	コンテナ	車両	バルク	合計
重量ベース（ト）	1,573	3,756	3,003	8,332
構成比（%）	18.9	45.1	36.0	100.0
（コンテナ数）	228TEU	—	—	—

＜貨物量の航路別内訳：重量（ト）ベース＞

区分	東海→境港	境港→東海	東海→ウラジオ	ウラジオ→東海	ウラジオ→境港	境港→ウラジオ	合計
重量（ト）	497	311	5,053	1,334	244	894	8,332
構成比（%）	6.0	3.7	60.7	16.0	2.9	10.7	100.0
主な取扱品目	水産品 リサイクルパッド トル 機械部類 建設パッド	水産品 日本酒 建設資材 車両部品	果物類 建設重機 車両部品 中古車 バス	水産品 蜂蜜 加工木材 水産品	中古タイヤ 加工木材 製品	中古農機、 カーター 中古車 車両部品 切り花	

平成23年3月新規高等学校卒業予定者の求人要請について

平成22年6月21日

雇用人材総室

雇用就業支援室

平成22年3月新規高等学校卒業者の就職内定率は、97.0%と前年同様97%台を維持したものの、県内就職希望者に対する県内求人の倍率は1.08倍（前年度1.24倍）と前年度を大きく下回る状況であった。

また、県外就職の割合が23%を占めるなど、県外への若者の流出が続く中、平成23年3月の卒業予定者については、引き続き厳しい求人状況になることが予想される。

については、来春の新規高等学校卒業予定者に対する県内求人確保するため、下記のとおり経済団体と企業に対して、国、県及び県教育委員会の共同により求人要請を行う。

記

1 経済団体への求人要請

- (1) 期 日 平成22年6月21日（月）
- (2) 要請者 藤井 喜臣 鳥取県副知事（鳥取県経営者協会のみ）
横濱 純一 鳥取県教育委員会教育長
山根 淳史 鳥取県商工労働部長
佐々木秀一 鳥取労働局長

(3) 要請先

団 体 名	対 応 者
鳥取県経営者協会	会 長 安藤 賢 氏
鳥取県商工会議所連合会	会 長 八村 輝夫 氏
鳥取県商工会連合会	会 長 中西 重康 氏
鳥取県中小企業団体中央会	専務理事 有田 勝徳 氏

2 個別企業への求人要請

- (1) 時 期 上記経済団体への求人要請日以降随時
- (2) 要請者 県、県教育委員会、労働局の関係課(室)長等

3 今後の主な取組について

- (1) 10人規模以上の事業所に対し、高卒対象求人提出の文書要請（7月に送付予定）
- (2) 高校生就職ガイダンス（3年生：7・8月に県内10回、2年生：1月以降に6回）
- (3) 新規高卒求人事業所説明会（8月3日：鳥取、4日：米子、6日：倉吉）
- (4) 新規高等学校卒業予定者就職面接会（11月に県内3会場で開催予定）
- (5) とっとり就職フェア2011・2月（県内3会場で開催予定）

ふるさと雇用再生特別交付金事業及び緊急雇用創出事業の平成 21 年度

実施状況と平成 22 年度予備枠の執行状況について（6 / 4 現在）

平成 22 年 6 月 21 日

雇用人材総室

雇用就業支援室

ふるさと雇用再生特別交付金事業及び緊急雇用創出事業の平成 21 年度実施状況及び、今年度の県事業予備枠を活用して追加実施することとなった事業は、以下のとおりです。

(参考)

○ふるさと雇用再生特別交付金事業

鳥取県ふるさと雇用再生特別基金（財源：国 10 / 10）を活用した事業により、継続的雇用機会の創出を図るもの。

○緊急雇用創出事業

鳥取県緊急雇用創出事業臨時特例基金（財源：国 10 / 10）を活用した事業により、一時的な雇用機会の創出を図るもの。

○重点分野雇用創出事業（平成 22 年度のみ）

緊急雇用創出事業のうち、特に重点分野（介護、医療、農林水産、環境・エネルギー、観光、地域社会雇用）に係るもの。

○地域人材育成事業（平成 22 年度のみ）

緊急雇用創出事業のうち、一時的な雇用機会の創出を図りつつ、地域のニーズに応じた人材育成を行うもの。

1 平成 21 年度実施状況

(単位:人、百万円)

		予算 (補正後)	計 画 (最 終)		実 績	
			雇用創出人数	事業費	雇用創出人数	事業費
ふるさと	県	900	128	512	132	370
	市町村	900	—	—	278	665
	小計	1,800	128	512	410	1,035
緊急雇用	県	786	659	629	604	458
	市町村	980	—	—	1,180	576
	小計	1,766	659	629	1,784	1,034
合計		3,566	787	1,141	2,194	2,069

※当初予算時の県事業の雇用創出人数は 453 人だったが、事業の追加実施等により 736 人（市町村を含めると 2,194 人）の雇用を創出する事が出来た。

(参考)

(単位:百万円)

	基金積立額	H20実績	H21実績	H22予算	H23予定
ふるさと	5,390	0	1,035	2,120	2,235
緊急雇用	5,190	4	1,034	2,600	1,552
重点分野	950	—	—	950	—
地域人材育成	600	—	—	600	—
計	12,130	4	2,069	6,270	3,787

2 平成22年度予備枠の執行状況(6月4日までに追加決定した事業)

(1)ふるさと雇用再生特別交付金事業

追加事業なし

(2)緊急雇用創出事業

所属名	事業名	雇用創出人数	H22予算額(千円)	事業内容
(福祉保健部)障がい福祉課	身体障害者福祉法指定医師の手引き作成等事業	1	1,013	身体障害者手帳の円滑な交付を図るため、身体障害者福祉法に規定する指定医師の手引書の作成等を行う。
鳥取看護専門学校	【非常勤職員】看護学校カリキュラム改正対応事業	2	1,779	看護学校カリキュラム改正による増加事務に対応するための非常勤職員雇用。
(生活環境部)水・大気環境課	天神川流域下水道の施設整備に係る支援員設置事業	1	2,084	天神川流域下水道の設備整備に係る現場指導のほか、設備情報、資産情報及び維持管理情報の収集・整理、点検・部品取替履歴の整理等事務を行う。
(農林水産部)中部総合事務所農林局	土地改良施設データ整理事業	2	2,314	土地改良施設の円滑な譲与や災害等の危険を防止するため、施設の台帳作成や点検結果の資料整理を行う。
(県土整備部)鳥取港湾事務所	港湾巡視員設置事業	2	2,488	港湾、漁港、海岸の適正利用と総合的な維持・管理を図るため、港湾・漁港・海岸の巡視等を行う。
(教育委員会)教育総務課	県費負担教職員子ども手当認定等事務支援事業	6	5,785	教職員の子ども手当認定等を円滑に行うため、認定等に係る事務の補助を行う。
小中学校課	理科支援員配置事業及び小学校外国語活動支援員配置事業	2	2,446	小学校における理科及び外国語教育の活性化のため、事務の補助を行う非常勤職員を配置し、事業の充実と学力向上を図る。
博物館	美術事業費	1	260	郷土作家や美術事業に関する調査研究の補助を行う。
(庶務集中局)集中業務課	【非常勤職員】庶務集中化による事務事業	6	7,006	子ども手当認定・支給事務、非常勤職員報酬等支払・社会保険手続き事務等の増加事務に対応するための非常勤職員雇用。
今回報告分計①		23	25,175	
報告済分②		487	593,423	
報告済み事業の増減額③		0	888	
合計④(=①+②+③)		510	619,486	
県実施分現計予算額⑤			1,300,000	
残額(⑤-④)			680,514	

(3)重点分野雇用創出事業

所属名	事業名	雇用創出人数	H22予算額(千円)	事業内容
(福祉保健部)長寿社会課	「働きながら資格をとる」介護雇用プログラム事業	1	2,579	「働きながら資格をとる」介護雇用プログラム事業の委託関係事務を行う。
(農林水産部)中部総合事務所農林局	鳥取県中部地域における農林水産物PR事業	2	6,571	中部地区の農林水産物の活性化を図るため、農林水産物や農林水産物の観光資源及び農林水産物加工品等の一体的なPRを行う。
今回報告分計①		3	9,150	
報告済分②		208	331,487	
合計③(=①+②)		211	340,637	
県実施分現計予算額④			624,000	
残額(④-③)			283,363	

(4)地域人材育成事業

所属名	事業名	雇用創出人数	H22予算額(千円)	事業内容
(水産振興局)水産課	鳥取県水産業担い手育成総合研修事業	3	8,875	水産業に関する知識、技術を持った人材の確保・育成を図るため、雇用の場を確保するとともに、水産分野に関する研修を行う。
今回報告分計①		3	8,875	
報告済分②		130	344,261	
合計③(=①+②)		133	353,136	
県実施分現計予算額④			412,000	
残額(④-③)			58,864	

次世代改革推進本部「緑の分権改革プロジェクトチーム」について

平成22年6月21日
県政推進課
環境立県推進課
産業振興総室

次世代改革推進本部の緑の分権改革プロジェクトチームの設置及び取組等の状況は次のとおりです。

1 緑の分権改革プロジェクトチームの概要

(1) 設置の目的

- EV充電施設の整備、EV工場の進出支援に速やかに対応する。
- スマートタウン、持続可能な地域の実現に向けた検討を行う。

(2) チームの構成

- チーム長は統轄監、副チーム長は生活環境部長、商工労働部長とし、チーム員は生活環境部、商工労働部を中心に40名で構成。
- プロジェクトチームの活動は、業務の内容に応じてグループで取り組むこととしており、それぞれの業務内容及び責任課は下表のとおり。

業務内容	責任課
㈱ナノオプトニクス・エナジーの進出に伴う支援	産業振興総室
EV充電施設の整備	グリーンニューディール推進室
クリーンエネルギー資源の賦存量・利用可能量等の調査	環境立県推進課
地域資源の活用による「地域主権型社会」鳥取県モデルの検討・立案	県政推進課

2 取組の状況及び今後の予定

(1) ㈱ナノオプトニクス・エナジーの進出に伴う支援

①現在の状況

- 工場進出への支援に関して補助金等の手続き及び人材確保関係について実務担当者が協議。
- EV関連産業の人材育成を睨んだ人材育成関連予算を6月議会に提案。

②今後の予定

- ナノ社の具体的な計画にあわせて支援策を実施するため、引き続きナノ社と連携をとっていく。

(2) EV充電施設の整備

①現在の状況

- EV充電施設の設置に向けて市町村・企業等に依頼。

②今後の予定

- 市町村・企業等にEV充電施設の説明を行うなど、設置への協力依頼を引き続き行っていく。

(3) クリーンエネルギー資源の賦存量・利用可能量等の調査

①現在の状況

- クリーンエネルギー資源の賦存量・利用可能量等の委託調査について、県内に本社を置く事業者を対象としたプロポーザル方式で現在公募中。(公募期間：6月23日まで)

②今後の予定

- 委託事業により実証調査を実施し、本県の実情にあつたスマートグリッドの構築によるスマートタウンの形成につなげていくよう、プロジェクトチーム内で連携し検討をすすめる。

(4) 地域資源の活用による「地域主権型社会」鳥取県モデルの検討・立案

①現在の状況

- プラチナ社会研究会、緑の分権改革に関する情報を収集。
- 今後、プラチナ社会研究会等で行われる意見交換のうち、本県へのメリットが想定されるテーマについては、積極的に参加して情報収集を行っていく。

②今後の予定

- エネルギーの地産地消など、地域資源を活用した「地域主権型社会」鳥取県モデルを検討・立案する。

鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」の状況について

平成22年6月21日
市場開拓局
市場開拓課

鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」の状況について、報告します。

1 アンテナショップ効果事例

<販路開拓・拡大>

アンテナショップ販売商品を首都圏の卸小売業や外食店等に紹介した結果、販路開拓に成果。

【取扱決定】

商談相手	商談状況
自然食品を中心に展開するネット通販会社と関連の自然食品店等	ネット通販会社が4月19日・20日に首都圏販路開拓マネージャーと県内を訪問し、県内事業者11社と商談した結果、4社9商品（らっきょう、ながいも、一夜干しセット、干しわかめ）の取扱いが決定、5社5品目について商談中（鮮魚詰め合わせ、しじみなど）。また、関連する自然食品店において、1社1商品（干しわかめ）の取扱いが決定し、関連会社の外商部門に1商品を提案中
全国の小規模作業所や地域のこだわり商品を中心に展開するネット通販会社	2社5商品（ちくわ、板わかめ）の取扱いが決定、9社10品目の商品の取扱いについて商談中（自然薯、お米、味噌、漬物、ながいもかまぼこ、ロールケーキなど）。
健康食品を中心に展開するネット通販会社	ネット通販会社が1月21日・22日に首都圏販路開拓マネージャーと県内を訪問し、県内事業者12社と商談、契約手続きを行っていたが、4月以降、4社13商品について取扱いを開始。4社16商品について、引き続き契約手続き中（乾物加工品、トマト加工品など）。

【商談継続中の主なもの】

商談相手	商談状況
ネット通販と物産フェアを展開する情報関連会社	バイヤーをアンテナショップに招き、アンテナショップ取扱商品を中心に3社4商品について提案中（しじみ、ブルーベリージャム、ねばりっこパウダーなど）。

<商品開発（改良）>

アンテナショップで収集した情報を県内事業者に伝達し、新商品開発や商品改良に取り組み。

【主なもの】

商品名	内容
キノコチップス、シャンプー、板わかめ、せんべい	小包装・少量化
塩らっきょう	水で洗ってすぐに酢に漬けられ、家庭で手軽に漬けを楽しむことができる製品の開発

2 取組状況

<県産品の情報発信>

- テレビ・雑誌等でのアンテナショップの紹介

テレビ朝日系全国放送「やじうまプラス」(5/7放送)、HERS(6月号)、ENGINE(7月号)、Casa BRUTUS(7月号)

- 地元生産者が講師のらっきょうの漬け方講習会を開催(5/26)
- 2階飲食店舗において、県内の地酒のPRイベントを開催(6/5、6/17)
- 2009年度ミス・ワールド日本代表の佐々木えるざさん(鳥取県ふるさと大使)が来店し、催事出展中の県産品をPR予定(6/26)
- 2階飲食店舗において、旬の食材らっきょう、すいかを使ったスペシャルメニューを提供

<催事による情報発信(6月実施分)>

- 地ビール、地酒、シャンプー、さしみわかめ、鯖鮓等の試食(宣伝)販売(6事業者)
- 倉吉農業高等学校の生徒による、農産物、加工品の販売実習(6/19)
- 綾瀬タウンヒルズでの観光物産PRにアンテナショップが出展(6/12、13)
- イオンモール川口キャラでの観光物産PRにアンテナショップが出展(6/27)

3 運営状況
 <来客実績>

区分	物 販 店 舗				レ ス ト ラ ン		
	買物客数	営業 日数	売上高 (千円)		来店客数	営業 日数	売上高 (千円)
				うち催事売上高 (千円)			
H20. 8. 29～ H21. 3. 31	37,662名	211日	50,229	806	13,497名	171日	50,092
H21.4月	4,737名	30日	5,837	62	1,731名	25日	5,925
5月	6,309名	31日	7,590	87	1,822名	23日	6,410
6月	6,159名	30日	7,701	212	2,203名	26日	7,489
7月	6,206名	31日	7,700	181	2,092名	26日	7,345
8月	7,483名	31日	8,198	108	2,268名	27日	7,804
9月	7,002名	30日	8,743	209	1,828名	23日	6,191
10月	6,384名	31日	7,623	224	1,865名	26日	6,716
11月	6,523名	30日	9,241	237	1,578名	23日	5,411
12月	6,438名	30日	8,696	281	1,450名	21日	5,270
1月	5,361名	28日	6,597	122	1,713名	23日	5,526
2月	5,056名	28日	6,756	177	1,609名	22日	5,568
3月	6,229名	31日	8,222	236	1,813名	26日	6,072
H21. 4～H22. 3	73,887名	361日	92,904	2,136	21,972名	291日	75,727
H22.4月	6,155名	30日	8,357	313	1,671名	25日	5,814
合 計	117,704名	602日	151,490	3,255	37,140名	487日	131,633

<物販店舗の人気商品 (4月) >

順位	品 名	販売価格
1位	干しホタルイカ	525円
2位	らっきょうドレッシング	398円
3位	砂丘らっきょう漬 (甘酢) 大	1,050円
4位	打吹公園だんご	(5本入) 500円 (10本入) 900円
5位	砂丘らっきょう漬 (甘酢) 大	525円



らっきょうの漬け方講習会の様子



県内の地酒のPRイベントの様子

第3回「食のみやこ鳥取県」県産品展示商談会の開催結果について

平成22年 6月21日
市場開拓局
市場開拓課

県内で生産される優れた農林水産物及びその加工品等について県内外の販売店、飲食店、旅館等での取扱い拡大を図り、県内外のより多くの方に鳥取県産品に触れていただく機会を増やすことにより「食のみやこ鳥取県」の魅力を発信していくことを目的として、県産品展示商談会を開催しました。

1 日 時 平成22年6月17日(木) 10時00分～11時30分

2 場 所 とりぎん文化会館 第2会議室

3 主 催 鳥取県

4 実施方法

- 売り手側が会場内の自社テーブルで商品展示・説明・試食PRを実施
- 買い手側の参加者は開催時間内に自由に来場し、会場内で希望する相手と商談

5 参加者

- 〈買い手側〉 県内外量販店等バイヤー、流通関係者、旅館・ホテル事業者、飲食店事業者、ネット通販事業者等(27社)
- 〈売り手側〉 県内食品製造業者・農林水産業者・加工グループ・等(39社)

6 結果概要

成約 4件、見積依頼のあったもの 27件、サンプル送付依頼のあったもの 26件、再度商談等の約束をしたもの 6件

○ 出展者の声

- ・会場が少し狭かったが、今後もこのような展示商談会があれば、また参加したい。
- ・商談が成立するなど、有意義な商談会だった。

○ 買い手側の声

- ・取引するにあたり、興味のある商品があった。
- ・鳥取ならではの企業、商品が多く、新たな地域商材として採用できるよう検討したい。
- ・生産者の方の生の声が聞けて大変参考になった。
- ・鳥取県の特産品について、勉強になった。オリジナル商品はレベルも高く、各企業が熱心に説明されており、良かった。

